

2025年2月 全学環境安全管理室等会議・事故災害報告(要約)

・不休業

- 24257F** M2(男性:37歳);暗室で蛍光顕微鏡の試料プレートの位置調整をしていたところ、他者が誤ってスイッチ操作をしたため蛍光観察用の光を左目に受けた。
- 24281F** 事務職員(女性:54歳);打ち合わせに間に合うように急いで走って出勤していたところ、躓いて前向きに転倒し両手両膝をついて裂傷を負った。
- 24282F** D2(女性:43歳);酸素吸入を伴う実証実験中に動悸を感じた。いつもより早く起床していた。
- 24283F** 助教(男性:50歳);高い場所の配線のために机の上に立って作業していたところ、へり際に体重をかけてしまいバランスが崩れて机が横転。落下の際に右足の中指を骨折した。
- 24284F** 看護師(女性:47歳);重量のある排液タンクを持ち上げて排水していたところ、右手首を捻挫した。
- 24287F** 特任准教授(男性:35歳);階段を上っている際に躓き、壁に側頭部を強打した。両手に荷物を持っていた。
- 24288F** D2(男性:36歳);マウスに薬剤を注射後、リキャップしようとして誤って左第2指に針を刺した。
- 24293F** B3(男性:23歳);ホールピペットからピペッターを外す際に、ピペットを曲げるようにして引いてしまったために破損し、割れ口で指を切った。慣れによる油断があったかもしれない。

・通勤災害

- 24279J** 教授(男性:44歳);構内歩道を歩行中に転倒して左後頭部を打撲した。持病のため通常歩行が不安定であった。

・ヒヤリハット

- 24278H** 助教(男性:35歳);膝掛け代わりに使用していたダウンジャケットの袖が、座席近くの電気ストーブに近づいたため一部が溶けて異臭が発生した。
- 24286H** D3(男性:28歳);エチレンオキシドセンサーが誤発報した。室内で器具洗浄に用いていたアセトンの蒸気を検知した可能性がある。センサーは購入後から濃度較正を行っていなかった。
- 24289H** D1(男性:27歳);興味本位で緊急シャワーを使用し水が止まらなくなった。
- 24291H** 特任研究員(男性:60歳);モニランのバルブを操作する際に誤って必要のないVENTバルブも開けてしまい、ガス漏れ警報が発報した。慣れた作業で漫然と操作していた。

・その他

- 24280S** D3(女性:27歳);エレベータに乗り込んだところで突然意識を失い転倒し、顎を打撲。疲労やストレスによるものと思われる。

・人的被害なし、設備災害でない機器・施設損傷あり

- 24290Nd** 事務職員(男性:50歳・54歳、女性:47歳・49歳);ドラム式コードリールに電気ストーブ3台を接続して使用していたところ、異常加熱が起りコード被覆が溶融しショート、電源ブレーカーが作動した。消防からの火災認定はなし。
- 24292 Nd** 異常発報のため現場を確認したところ、分電盤のブレーカーが落ちていた。リモコンリレーに焦げがあったが、火災認定はされなかった。機器の経年劣化が原因と思われる。

以上 教養学部等環境安全管理室